

平成 29 年 11 月 6 日

関係者各位

東京都学生弓道連盟
委員長 竹沢 剛
女子部委員長 増田 美保

的中率計算ミスに関して、今後の対応

先日発生した、的中率計算のミスにより入替戦の組み合わせに誤りが生じてしまった件に関して、本連盟にて原因を調査し、また改善案を検討いたしました。

現状、的中率の計算は、担当役員二名が先代より引き継いだ同一のデータに数値を入力し、その後、二名で照合し、確定したものを正式的な中率としております。今回の問題は、誤りに気付かないという人為的なミスに加え、作業が少数の役員に集中していることや、計算に使用している元データが同一であるという脆弱性が原因にあると考えております。また、加盟校向けの的中率を公表するタイミングが、例年リーグ戦全試合終了後（入替戦・順位決定戦を含める）の 11 月の委員会であり、入替戦前の中率が加盟校の目に晒される機会が無かったことも一因と考えております。

以上の点から、今後は以下のような対策を講じ、今後は一切このようなミスが発生しないように業務に努めて参ります。

記

- ・ 的中率計算用データを新たに作成し、担当役員の同一データの使用を避ける。
- ・ 担当役員を二名から三名に増やし、うち一名は必ず手作業にて的中率を算出する。
- ・ リーグ戦第五週が終了した時点で、都学 HP に各校の的中率を掲載する。

改めまして、このたびは関係各校に多大なるご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。加盟校の信頼を回復できるよう、真摯に、着実に業務に向き合っておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上